

先進国資産配分 コントロールファンド<成長型> (愛称：コア成長)

追加型投信／内外／資産複合

第8期 交付運用報告書

決算日 2024年4月23日

作成対象期間 (2023年4月25日～2024年4月23日)

■受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「先進国資産配分コントロールファンド<成長型>（愛称：コア成長）」は2024年4月23日に第8期の決算を行いました。

当ファンドは、指定投資信託証券への投資を通じて、日本を含む世界各国の株式、債券および短期金融資産を実質的な主要投資対象とし、値上がり益の獲得および利子・配当等収益の確保をめざして運用を行ってまいりました。ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

◆ 中銀アセットマネジメント

岡山県岡山市北区柳町2丁目11番23号

＜お問い合わせ先＞

サポートダイヤル：086-224-5310

受付時間：営業日の午前9時～午後5時

ホームページ：<https://www.chugin-am.jp/>

* お取引内容等につきましては、ご購入された販売会社にお問い合わせください。

第8期末（2024年4月23日）	
基準価額	12,843円
純資産総額	870百万円
第8期 (2023年4月25日～2024年4月23日)	
騰落率	16.6%
分配金合計	0円

(注) 騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、中銀アセットマネジメント株式会社のホームページで閲覧・ダウンロードしていただけます。

○運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

＜運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法＞

右記＜お問い合わせ先＞のホームページを開く

⇒「ファンド情報」

⇒「基準価額一覧」

⇒「ファンド一覧」からファンド名称を選択する

⇒最新レポート「運用報告書（全体版）」を選択

運用経過

■基準価額等の推移について

(2023年4月25日～2024年4月23日)



第8期首: 11,016円

第8期末: 12,843円 (既払分配金 0円)

騰落率: 16.6% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

■基準価額の主な変動要因

【上昇要因】

国内株式・先進国株式

期首より内外株式の組入比率を高めていったことで、内外株式市場の上昇を受けて大幅なプラス寄与となりました。

先進国債券 (ヘッジなし)

期前半にかけて先進国金利は上昇しましたが、期を通じて為替が円安基調となり、プラス寄与となりました。

【下落要因】

先進国債券 (ヘッジあり)

期前半にかけて先進国金利が上昇基調となり、マイナス寄与となりました。

■ 1 万口当たりの費用明細

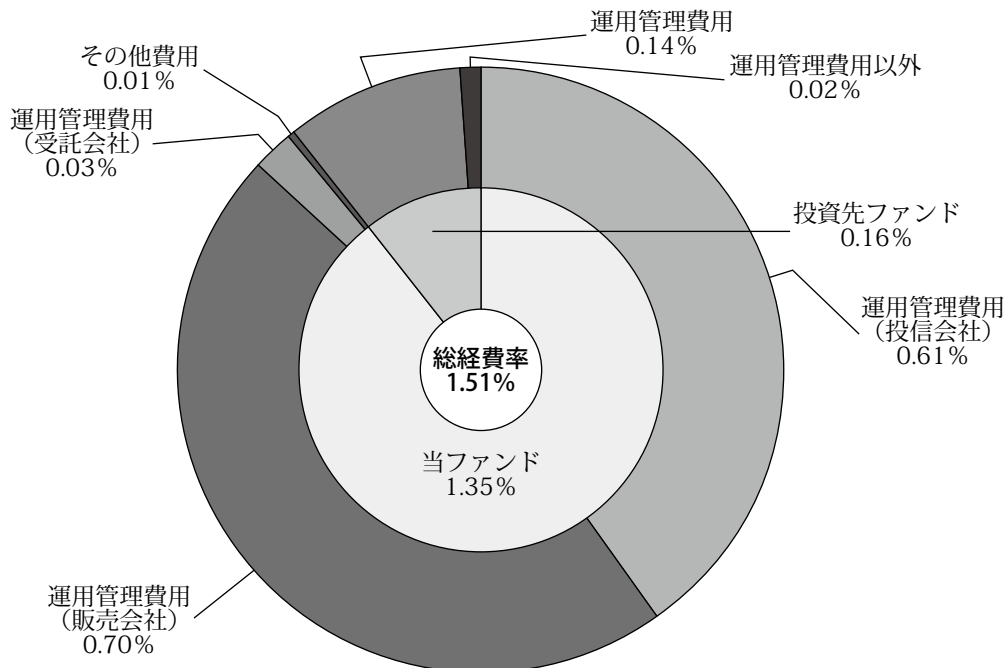
項 目	当 期 2023年 4 月25日～2024年 4 月23日		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	158円	1.338%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は11,800円です。
(投 信 会 社)	(71)	(0.603)	委託した資金の運用等の対価
(販 売 会 社)	(83)	(0.702)	購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受 託 会 社)	(4)	(0.033)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	1	0.005	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(1)	(0.005)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	159	1.343	

- (注) 期中において発生した費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。
- (注) 各比率は 1 万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点第 3 位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.51%です。



総経費率 (①+②+③)	1.51%
①当ファンドの費用の比率	1.35%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.14%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.02%

(注) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券です。

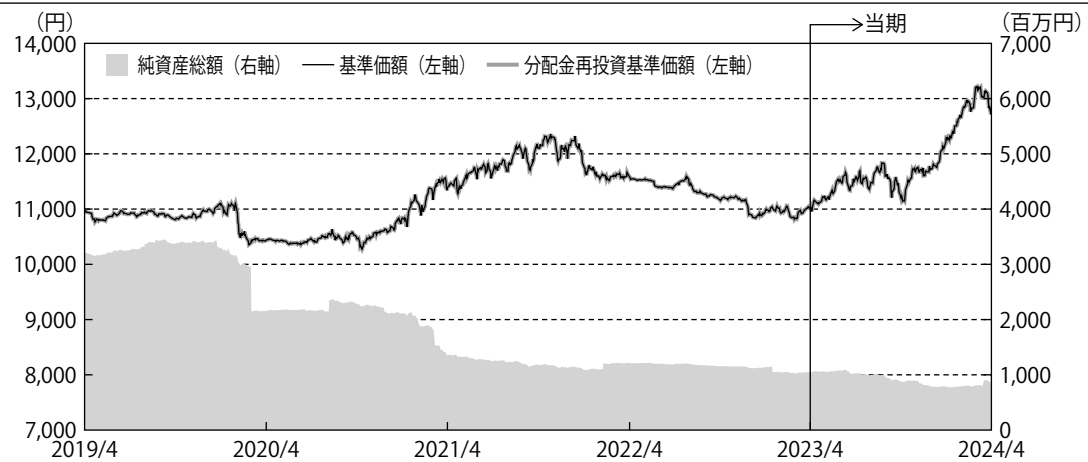
(注) ①の費用は、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■最近5年間の基準価額等の推移について

(2019年4月23日～2024年4月23日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2019年4月23日の値が基準価額と同一になるように指数化しています。

	2019年4月23日 (決算日)	2020年4月23日 (決算日)	2021年4月23日 (決算日)	2022年4月25日 (決算日)	2023年4月24日 (決算日)	2024年4月23日 (決算日)
基準価額 (円)	10,939	10,434	11,392	11,581	11,016	12,843
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△4.6	9.2	1.7	△4.9	16.6
純資産総額 (百万円)	3,199	2,161	1,356	1,211	1,046	870

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

【概況】

期前半は日銀の緩和的な金融政策の継続や東京証券取引所による上場企業への経営改革要請、国内経済のデフレからインフレへの転換に対する期待などから、国内株式市場は上昇基調となりました。また、米国株式市場も好調な企業決算やF R B（米連邦準備制度理事会）による利上げ停止が意識され上昇基調となりました。期後半はF R Bによる金融引き締め長期化懸念の後退やハイテク企業の好調な決算などを背景に米国株式市場が大幅上昇したことや、内外金利差の拡大が意識され円安が進んだことなどから、国内株式市場も大幅に上昇しました。

金利は期前半は国内外ともに上昇し、債券価格は下落しました。期後半は世界的な金利低下基調により、債券価格はこれまでの下落幅を縮小しました。

為替は内外金利差の拡大を背景に、対ドル対ユーロともに円安が進行しました。

【株式】

国内株式

日銀の緩和的な金融政策の継続や、国内経済のデフレからインフレへの転換に対する期待などのほか、円安の進行による業績改善期待も重なり大幅に上昇しました。

先進国株式

期前半はF R Bによる利上げ停止が意識されたほか大手ハイテク企業の好調な決算内容などから上昇基調となりました。期後半はF R Bによる金融引き締め長期化懸念の後退などから大幅に上昇しました。

【債券】

国内債券

期前半はY C C（イールドカーブ・コントロール：長短金利操作）の運用の柔軟化が決定されたことや更なる金融政策修正の懸念が台頭し、国内金利は上昇しました。期後半は景気減速懸念を背景に欧米金利の上昇が一服したことから一時国内金利は低下しましたが、期末にかけて金融政策修正懸念が再燃し、国内金利は再び上昇しました。

先進国債券

期前半はF R Bによる金融引き締め長期化懸念から、米国金利は上昇しました。期後半は金融引き締め長期化懸念の後退やF O M C（米連邦公開市場委員会）でのハト派的な声明文を受け米国金利は一時低下しましたが、堅調な経済指標やF R B高官からの牽制発言を受けて早期の利下げ期待が剥落し期末にかけて米国金利は上昇しました。欧州金利は概ね米国金利に連動した動きとなりました。

【為替】

為替は、対ドルで期前半はF R Bの金融引き締め長期化懸念による米国金利上昇と日銀の金融緩和政策維持により日米金利差の拡大が意識され、ドル高・円安が進行し150円台に迫る水準となりました。期後半はF R Bの利下げ期待の高まりやインフレの鈍化等を背景とした米国金利の低下により内外金利差

が縮小し一時140円台まで円高が進んだものの、日銀の金融政策修正観測後退やF R Bによる早期の利下げ期待が剥落し期末には154円を超える水準まで円安が進みました。

対ユーロでは、各国の金融政策の方向性の違いによる金利差拡大が意識され、ユーロ高・円安が進行しました。期首は148円台で推移していましたが、期中は概ね円安方向に推移し、期末には165円を超える水準まで円安が進みました。

■当ファンドのポートフォリオについて

(2023年4月25日～2024年4月23日)

当ファンドは、三菱UFJ信託銀行の投資助言に基づき、各指定投資信託証券を組入れた運用を行いました。株式の組入比率については、「投資環境」や「株式部分の収益寄与」に基づいて組入比率を決定する『株式ウエイトマトリクス』（※「交付目論見書」運用方法／プロセスをご参照ください）を活用しています。

【組入比率】

期首から期前半にかけて内外株式の組入比率を徐々に引き上げました。期後半も内外株式を高位に組入れました。

【パフォーマンス要因】

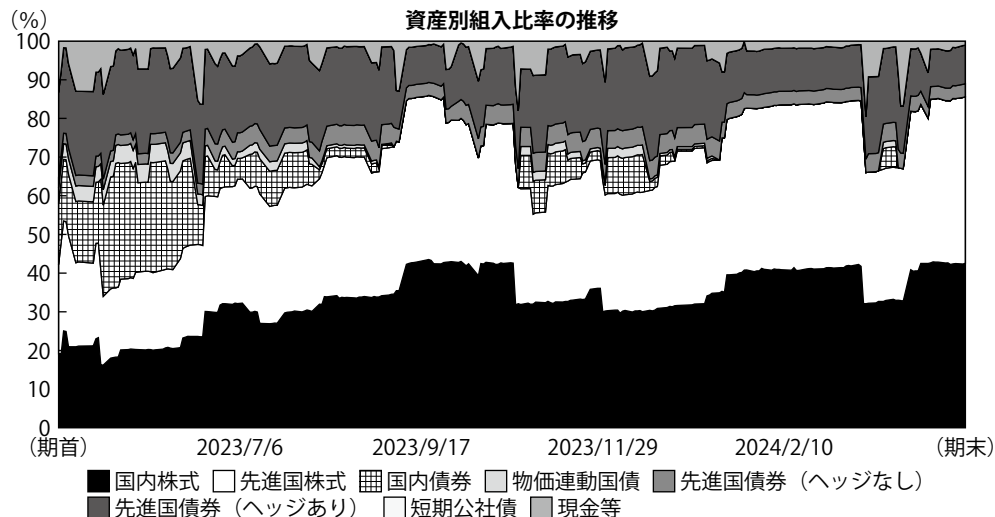
先進国債券（ヘッジあり）がマイナス寄与した一方で、国内株式および先進国株式が大幅にプラス寄与し、全体としてプラスとなりました。

(ご参考)

資産別組入比率および基準価額騰落率

(2024年4月23日現在)

主要投資対象	投資信託証券名	組入可能範囲	組入比率	期中の基準価額騰落率
先進国債券（ヘッジあり）	MUKAMヘッジ付外国債券インデックスファンド2（適格機関投資家限定）	0.0%～25.0%	9.9%	△4.2%
先進国債券（ヘッジなし）	MUKAM外国債券インデックスファンド2（適格機関投資家限定）	(原則13.0%～25.0%とします)	3.4%	14.7%
物価連動国債	国内物価連動国債インデックスファンド（適格機関投資家限定）	0.0%～51.0%	—	2.8%
国内債券	MUKAM日本債券インデックスファンド2（適格機関投資家限定）		—	△2.9%
先進国株式	MUKAM外国株式インデックスファンド2（適格機関投資家限定）	0.0%～42.5%	43.1%	36.5%
国内株式	MUAMインデックスファンドTOPIX i（適格機関投資家限定）	0.0%～42.5%	42.5%	33.6%
短期公社債	マネーボールファンド（FOF s用）（適格機関投資家限定）	—	—	0.0%



※比率は、各資産に対応する指定投資信託証券の純資産総額に対する割合です。

■ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

■分配金について

当期につきましては、分配可能額、基準価額水準、市況動向等を勘案し、収益分配の実施は見送りとい
たしました。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針に基づいて運用を
行います。

分配原資の内訳 (1万口当たり・税込み)

項目	第 8 期
	2023年4月25日～2024年4月23日
当期分配金	－円
(対基準価額比率)	－％
当期の収益	－円
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	2,843円

(注) 「当期の収益」は、費用控除後の配当等収益および費用控除後・繰越欠損補填後の有価証券売買等損益から分配に充当した金額です。
また「当期の収益以外」は収益調整金および分配準備積立金から分配に充当した金額です。
(注) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は小数点以下切捨てのため、合計額が「当期分配金」と一致しない場合があります。
(注) 「対基準価額比率」は、「当期分配金(税込み)」の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、当ファンドの収益率とは異なります。

■今後の運用方針について

- ・引き続き、三菱UFJ信託銀行の投資助言・情報提供に基づいた運用を行う方針です。
- ・三菱UFJ信託銀行は『株式ウェイトマトリクス』に基づく株式組入比率、および債券組入比率につ
いて日次で情報を提供しています。加えて、国内外の債券市況が下落した場合などに、引き下げる債
券の比率についての情報を適時、提供しています。

お知らせ

約款の運用の基本方針の投資制限において、投資信託証券を通じて行うデリバティブ取引（法人税法
第61条の5に定めるものをいいます。）については、価格変動、金利変動および為替変動により生じ
るリスクを減じる目的ならびに投資対象資産を保有した場合と同様の損益を実現する目的以外には利用
しない旨を明示し、所要の約款変更を行いました。

なお、上記約款変更により商品としての基本的性格が変わるものではありません。

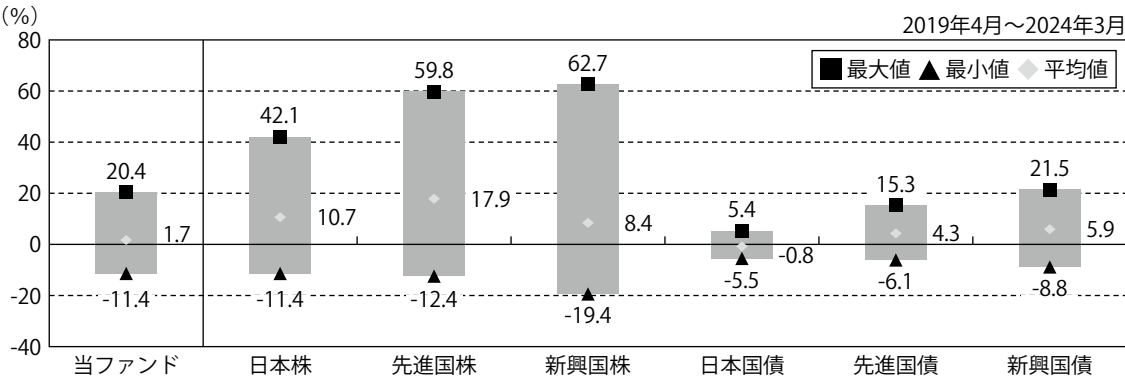
(実施日：2023年7月24日)

当該投資信託の概要

商 品 分 類	追加型投信／内外／資産複合		
信 託 期 間	無期限（2016年4月28日設定）		
運 用 方 針	・投資信託証券への投資を通じて、主として日本を含む世界各国の株式、債券に実質的な投資を行います。 ・運用につきましては、安定性と収益性のバランスを重視します。 ・投資対象とする投資信託証券は、原則として、別に定める投資信託証券（以下、「指定投資信託証券」といいます。）の中から選定します。なお、選定する投資信託証券は、定性・定量評価等により適宜見直しを行います。この際、指定投資信託証券として指定されていた投資信託証券を指定から外したり、新たに投資信託証券（ファンド設定以降に設定された投資信託証券も含みます。）を指定投資信託証券として指定する場合があります。 ・指定投資信託証券の投資配分比率については、三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社からの投資助言及び情報提供をもとに決定します。なお、一部の指定投資信託証券への投資配分比率がゼロとなる場合があります。 ・投資信託証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。 ・実質組入外貨建資産については、為替ヘッジを行う場合があります。		
主 要 投 資 対 象	当ファンド		指定投資信託証券への投資を通じて、日本を含む世界各国の株式、債券および短期金融資産を実質的な主要投資対象とします。
	指定投資信託証券	MUAMインデックスファンドTOPIX i (適格機関投資家限定)	東証株価指数（TOPIX）（配当込み）と連動する投資成果をめざして運用を行います。
		MUKAM外国株式インデックスファンド2 (適格機関投資家限定)	MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円換算ベース）と連動する投資成果をめざして運用を行います。
		MUKAM日本債券インデックスファンド2 (適格機関投資家限定)	国内債券NOMURA-BPI総合インデックスと連動する投資成果をめざして運用を行います。
		国内物価連動国債インデックスファンド (適格機関投資家限定)	NOMURA物価連動国債インデックス（フロアあり）と連動する投資成果をめざして運用を行います。
		MUKAM外国債券インデックスファンド2 (適格機関投資家限定)	FTSE世界国債インデックス（除く日本、円換算ベース）と連動する投資成果をめざして運用を行います。
		MUKAMヘッジ付外国債券インデックスファンド2 (適格機関投資家限定)	FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ヘッジ・円ベース）と連動する投資成果をめざして運用を行います。
		マネーボールファンド（FOFs用） (適格機関投資家限定)	国内の短期公社債等安定した収益の確保をめざして安定運用を行います。
運 用 方 法	日本を含む世界各国の株式、債券および短期金融資産を実質的な主要投資対象とし、値上がり益の獲得および利子・配当等収益の確保をめざします。		
収 益 分 配 方 針	・年1回の決算時（4月23日（休業日の場合は翌営業日））に分配を行います。分配対象額の範囲は、経費等控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ・分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準、市況動向等を勘案のうえ決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。		

(参考情報)

当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



- (注) グラフは、当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。
- (注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- (注) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。
- (注) 上記の騰落率は当期末の直近月末から60カ月遡った算出結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。
- (注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

代表的な資産クラスの指数について

日本株	東証株価指数（TOPIX）（配当込み） 株式会社 J P X 総研または株式会社 J P X 総研の関連会社が算出・公表する、日本の株式を対象とした指数で、配当を考慮したものです。
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス（配当込み、円ベース） MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の主要先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース） MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。
日本国債	NOMURA-BPI 国債 野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社が公表する指数で、国内で発行された公募固定利付国債を対象としています。
先進国債	FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース） FTSE Fixed Income LLCが開発した指数で、日本を除く世界の主要国の国債を対象としています。
新興国債	JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（円ベース） J.P. Morgan Securities LLCが算出・公表する指数で、世界の新興国が発行する現地通貨建て国債を対象としています。

- (注) 騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。
- (注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースとしています。
- (注) 上記各指数に関する知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。また、上記各指数の発行者および許諾者は、当ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

当ファンドのデータ

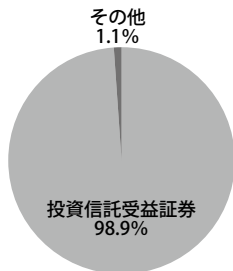
■当ファンドの組入資産の内容

◆組入ファンド等

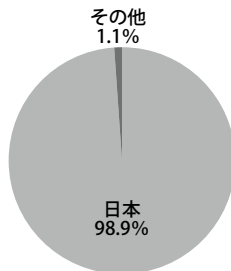
	第 8 期 末
	2024年 4月23日
MUKAM外国株式インデックスファンド2（適格機関投資家限定）	43.1%
MUAMインデックスファンドTOPIXi（適格機関投資家限定）	42.5%
MUKAMヘッジ付外国債券インデックスファンド2（適格機関投資家限定）	9.9%
MUKAM外国債券インデックスファンド2（適格機関投資家限定）	3.4%
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	1.1%

（注）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

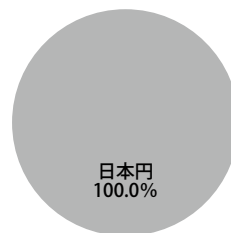
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



（注）比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

（注）国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合わせて運用しているものを含みます。

■純資産等

項 目	第 8 期 末
	2024年 4月23日
純 資 産 総 額	870,298,120円
受 益 権 総 口 数	677,640,930口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額	12,843円

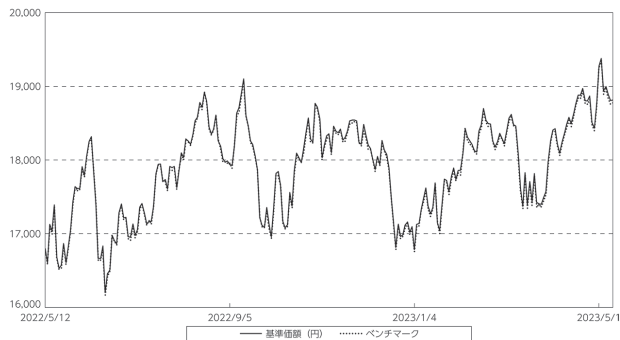
（注）当期中における追加設定元本額は168,462,163円、同解約元本額は441,132,328円です。

■組入上位ファンドの概要

(2023年5月12日現在)

MUKAM 外国株式インデックスファンド2 (適格機関投資家限定)

(2022年5月13日～2023年5月12日)
基準価額等の推移



(注) ベンチマークは期首の値をファンドの基準価額と同一になるよう指数化しています。

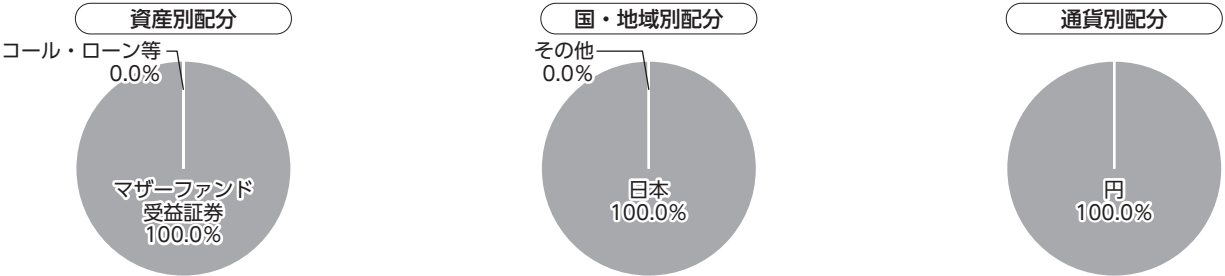
組入ファンド

(組入銘柄数：1 銘柄)

ファンド名	第5期末 2023年5月12日
外国株式インデックスマザーファンド	100.0%

※比率は当ファンドの純資産総額に対するマザーファンドの評価額の割合です。

種別構成等



※比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余剰資金等と合せて運用しているものを含みます。
※【国・地域別配分】、【通貨別配分】は、組入ファンドの発行地、発行通貨を表示しています。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2022年 5 月13日～2023年 5 月12日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 30	% 0.165	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率× (期中の日数÷年間日数)
(投 信 会 社)	(24)	(0.132)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(2)	(0.011)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(4)	(0.022)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	0	0.002	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(株 式)	(0)	(0.001)	
(投 資 信 託 証 券)	(0)	(0.000)	
(先 物 ・ オ プ シ ョ ン)	(0)	(0.002)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	3	0.014	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(3)	(0.014)	
(投 資 信 託 証 券)	(0)	(0.000)	
(d) そ の 他 費 用	4	0.022	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(4)	(0.020)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	37	0.203	
期中の平均基準価額は、17,896円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(ご参考)

■組入上位ファンドの概要

(2023年5月12日現在)

外国株式インデックスマザーファンド

基準価額の推移

2022年5月12日～2023年5月12日



1万口当たりの費用明細

2022年5月13日～2023年5月12日

項目	当期	
	金額(円)	比率(%)
(a)売買委託手数料	1	0.002
(株 式)	(0)	(0.001)
(投資信託証券)	(0)	(0.000)
(先物・オプション)	(1)	(0.002)
(b)有価証券取引税	7	0.014
(株 式)	(7)	(0.014)
(投資信託証券)	(0)	(0.000)
(c)その他費用	10	0.020
(保管費用)	(9)	(0.020)
(その他)	(0)	(0.000)
合計	18	0.036

期中の平均基準価額は、46,707円です。

※項目の概要については、前記「1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

組入上位10銘柄

(組入銘柄数：1,272銘柄)

	銘柄	種類	国・地域	業種／種別	比率(%)
1	APPLE INC	株式	アメリカ	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	5.2
2	MICROSOFT CORP	株式	アメリカ	ソフトウェア・サービス	4.1
3	AMAZON.COM INC	株式	アメリカ	一般消費財・サービス流通・小売り	1.9
4	NVIDIA CORP	株式	アメリカ	半導体・半導体製造装置	1.3
5	ALPHABET INC-CL A	株式	アメリカ	メディア・娯楽	1.3
6	ALPHABET INC-CL C	株式	アメリカ	メディア・娯楽	1.2
7	META PLATFORMS INC-CLASS A	株式	アメリカ	メディア・娯楽	1.0
8	TESLA INC	株式	アメリカ	自動車・自動車部品	0.9
9	UNITEDHEALTH GROUP INC	株式	アメリカ	ヘルスケア機器・サービス	0.9
10	EXXON MOBIL CORP	株式	アメリカ	エネルギー	0.8

※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。

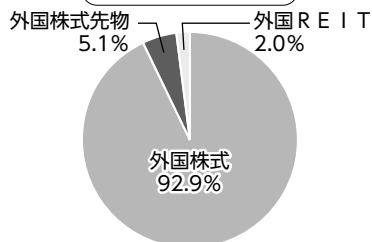
※R E I Tを含めて表示しています。

※原則、国・地域については、法人登録地を表示しています。

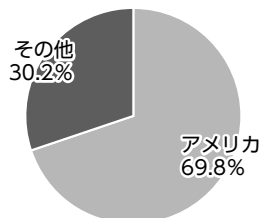
※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。

種別構成等

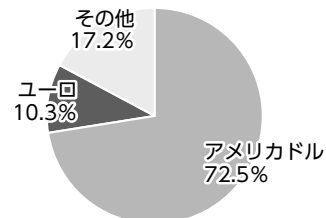
資産別配分



国・地域別配分



通貨別配分



※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※原則、国・地域については、法人登録地を表示しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含まず。

■組入上位ファンドの概要

(2024年2月14日現在)

MUAMインデックスファンドTOPIX i (適格機関投資家限定)

(2023年8月15日～2024年2月14日)



※ベンチマークは、期首の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。

組入ファンド

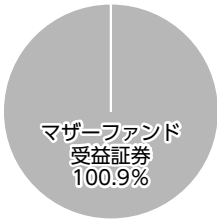
(組入銘柄数：1 銘柄)

ファンド名	第21期末 2024年2月14日
TOPIXマザーファンド	100.9%

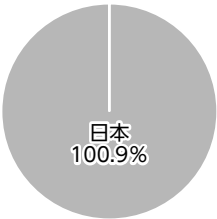
※比率は当ファンドの純資産総額に対するマザーファンドの評価額の割合です。

種別構成等

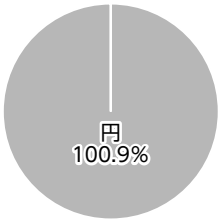
資産別配分



国・地域別配分



通貨別配分



※比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※【国・地域別配分】、【通貨別配分】は、組入ファンドの発行地、発行通貨を表示しています。

1 万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a)信 託 報 酬	16	0.077	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×（期中の日数÷年間日数）
（ 投 信 会 社 ）	(10)	(0.050)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（ 販 売 会 社 ）	(3)	(0.017)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(2)	(0.011)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b)売買委託手数料	0	0.000	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
（ 株 式 ）	(0)	(0.000)	
（先物・オプション）	(0)	(0.000)	
(c)そ の 他 費 用	0	0.001	(c)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.001)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	16	0.078	

期中の平均基準価額は、20,837円です。

- (注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

- (注) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(ご参考)

■組入上位ファンドの概要

(2023年3月27日現在)

TOPIXマザーファンド

基準価額の推移

2022年3月25日～2023年3月27日



1万口当たりの費用明細

2022年3月26日～2023年3月27日

項目	当期	
	金額(円)	比率(%)
(a)売買委託手数料	0	0.001
(株 式)	(0)	(0.000)
(先物・オプション)	(0)	(0.001)
合計	0	0.001

期中の平均基準価額は、22,682円です。

※項目の概要については、前記「1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

組入上位10銘柄

(組入銘柄数：2,162銘柄)

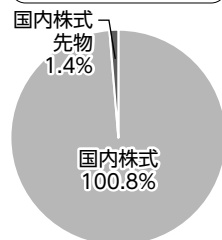
	銘柄	種類	国・地域	業種／種別	比率(%)
1	トヨタ自動車	株式	日本	輸送用機器	3.5
2	ソニーグループ	株式	日本	電気機器	2.9
3	キーエンス	株式	日本	電気機器	2.2
4	三菱UFJフィナンシャル・グループ	株式	日本	銀行業	1.8
5	日本電信電話	株式	日本	情報・通信業	1.8
6	第一三共	株式	日本	医薬品	1.5
7	武田薬品工業	株式	日本	医薬品	1.4
8	三井住友フィナンシャルグループ	株式	日本	銀行業	1.3
9	信越化学工業	株式	日本	化学	1.2
10	東京エレクトロン	株式	日本	電気機器	1.2

※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
※原則、国・地域については、法人登録地を表示しています。

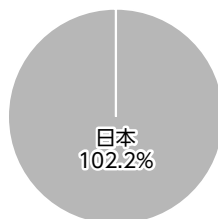
※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。

種別構成等

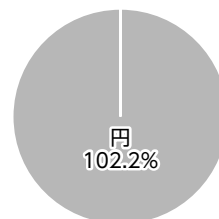
資産別配分



国・地域別配分



通貨別配分



※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

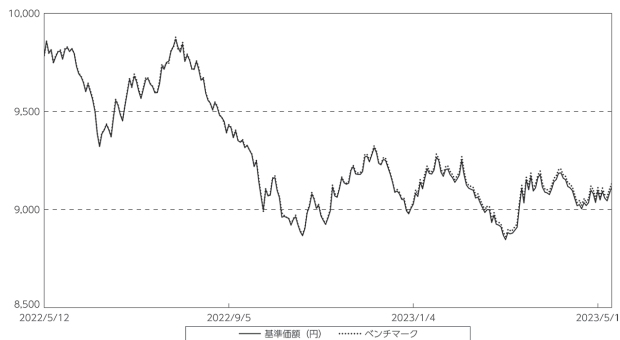
※原則、国・地域については、法人登録地を表示しています。

■組入上位ファンドの概要

(2023年5月12日現在)

MUKAMヘッジ付外国債券インデックスファンド2 (適格機関投資家限定)

(2022年5月13日～2023年5月12日)
基準価額等の推移



(注) ベンチマークは期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

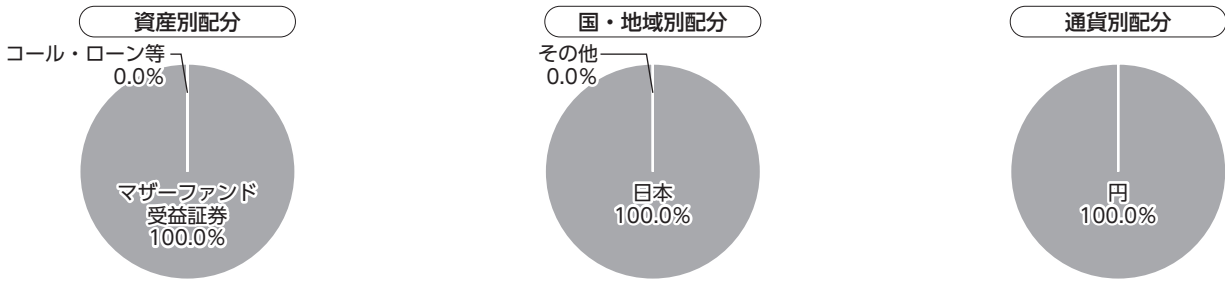
組入ファンド

(組入銘柄数：1 銘柄)

ファンド名	第5期末 2023年5月12日
ヘッジ付外国債券インデックスマザーファンド	100.0%

※比率は当ファンドの純資産総額に対するマザーファンドの評価額の割合です。

種別構成等



※比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。
※【国・地域別配分】、【通貨別配分】は、組入ファンドの発行地、発行通貨を表示しています。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2022年 5 月13日～2023年 5 月12日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 11	% 0.121	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率× (期中の日数÷年間日数)
(投 信 会 社)	(8)	(0.088)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(1)	(0.011)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.022)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	1	0.016	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.014)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	12	0.137	
期中の平均基準価額は、9,275円です。			

- (注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
- (注) 各比率は 1 万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第 3 位未満は四捨五入してあります。

(ご参考)

■組入上位ファンドの概要

(2023年1月26日現在)

ヘッジ付外国債券インデックスマザーファンド

基準価額の推移

2022年1月26日～2023年1月26日



1万口当たりの費用明細

2022年1月27日～2023年1月26日

項目	当期	
	金額(円)	比率(%)
(a)その他費用	2	0.013
(保管費用)	(2)	(0.013)
(その他)	(0)	(0.000)
合計	2	0.013

期中の平均基準価額は、12,176円です。

※項目の概要については、前記「1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

組入上位10銘柄

(組入銘柄数：866銘柄)

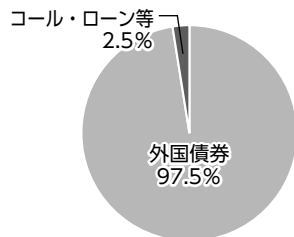
銘柄	種類	国・地域	業種／種別	比率(%)
1 2.875 T-NOTE 320515	債券	アメリカ	国債	0.6
2 1.125 T-NOTE 310215	債券	アメリカ	国債	0.5
3 1.25 T-NOTE 310815	債券	アメリカ	国債	0.5
4 1.375 T-NOTE 311115	債券	アメリカ	国債	0.5
5 2.75 T-NOTE 240215	債券	アメリカ	国債	0.4
6 2.75 T-NOTE 320815	債券	アメリカ	国債	0.4
7 0.25 T-NOTE 240515	債券	アメリカ	国債	0.4
8 0.625 T-NOTE 300815	債券	アメリカ	国債	0.4
9 2.875 T-NOTE 280515	債券	アメリカ	国債	0.4
10 2.875 T-NOTE 250615	債券	アメリカ	国債	0.4

※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
※原則、国・地域については、発行地を表示しています。

※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

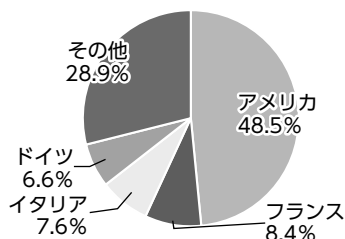
種別構成等

資産別配分



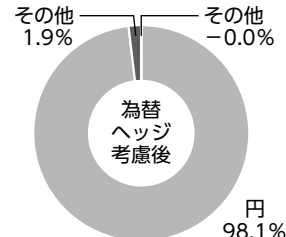
※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。
※原則、国・地域については、発行地を表示しています。

国・地域別配分



※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余剰資金等と合せて運用しているものを含みます。

通貨別配分

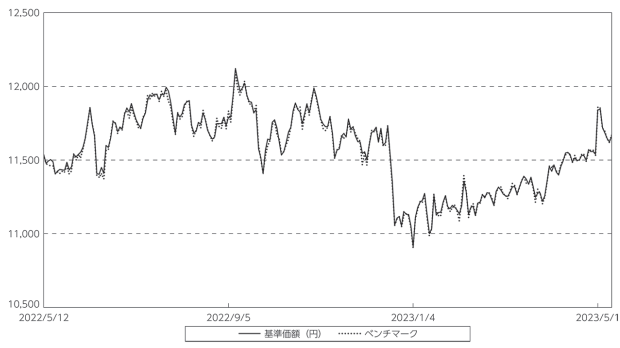


■組入上位ファンドの概要

(2023年5月12日現在)

MUKAM 外国債券インデックスファンド2 (適格機関投資家限定)

(2022年5月13日～2023年5月12日)
基準価額等の推移



(注) ベンチマークは期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

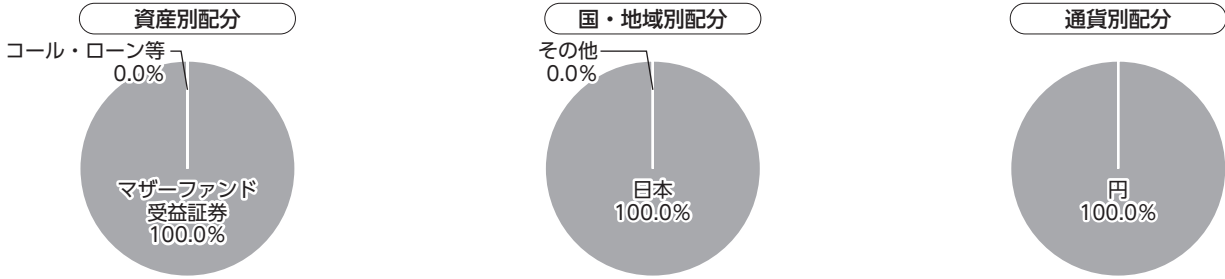
組入ファンド

(組入銘柄数：1 銘柄)

ファンド名	第5期末 2023年5月12日
外国債券インデックスマザーファンド	100.0%

※比率は当ファンドの純資産総額に対するマザーファンドの評価額の割合です。

種別構成等



※比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。

※【国・地域別配分】、【通貨別配分】は、組入ファンドの発行地、発行通貨を表示しています。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2022年 5 月13日～2023年 5 月12日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 15	% 0.132	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率× (期中の日数÷年間日数)
(投 信 会 社)	(11)	(0.099)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(1)	(0.011)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(3)	(0.022)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	1	0.013	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.011)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	16	0.145	
期中の平均基準価額は、11,561円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は 1 万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第 3 位未満は四捨五入してあります。

(ご参考)

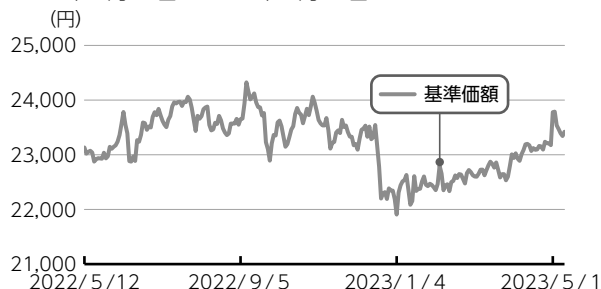
■組入上位ファンドの概要

(2023年5月12日現在)

外国債券インデックスマザーファンド

基準価額の推移

2022年5月12日～2023年5月12日



1万口当たりの費用明細

2022年5月13日～2023年5月12日

項目	当期	
	金額(円)	比率(%)
(a)その他費用	3	0.011
(保管費用)	(3)	(0.011)
(その他)	(0)	(0.000)
合計	3	0.011

期中の平均基準価額は、23,203円です。

※項目の概要については、前記「1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

組入上位10銘柄

(組入銘柄数：928銘柄)

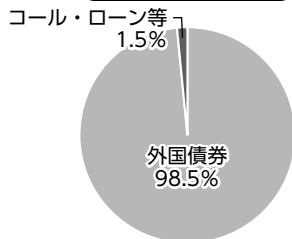
	銘柄	種類	国・地域	業種／種別	比率(%)
1	3.5 T-NOTE 330215	債券	アメリカ	国債	0.5
2	1.875 T-NOTE 320215	債券	アメリカ	国債	0.5
3	4.125 T-NOTE 321115	債券	アメリカ	国債	0.5
4	1.25 T-NOTE 310815	債券	アメリカ	国債	0.5
5	2.75 T-NOTE 320815	債券	アメリカ	国債	0.5
6	0.875 T-NOTE 301115	債券	アメリカ	国債	0.5
7	1.375 T-NOTE 311115	債券	アメリカ	国債	0.4
8	2.875 T-NOTE 320515	債券	アメリカ	国債	0.4
9	1.625 T-NOTE 310515	債券	アメリカ	国債	0.4
10	1.125 T-NOTE 310215	債券	アメリカ	国債	0.4

※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
※原則、国・地域については、発行地を表示しています。

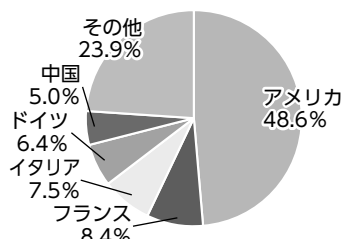
※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

種別構成等

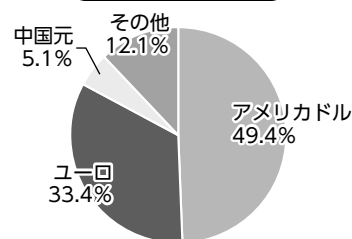
資産別配分



国・地域別配分



通貨別配分



※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。
※原則、国・地域については、発行地を表示しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。